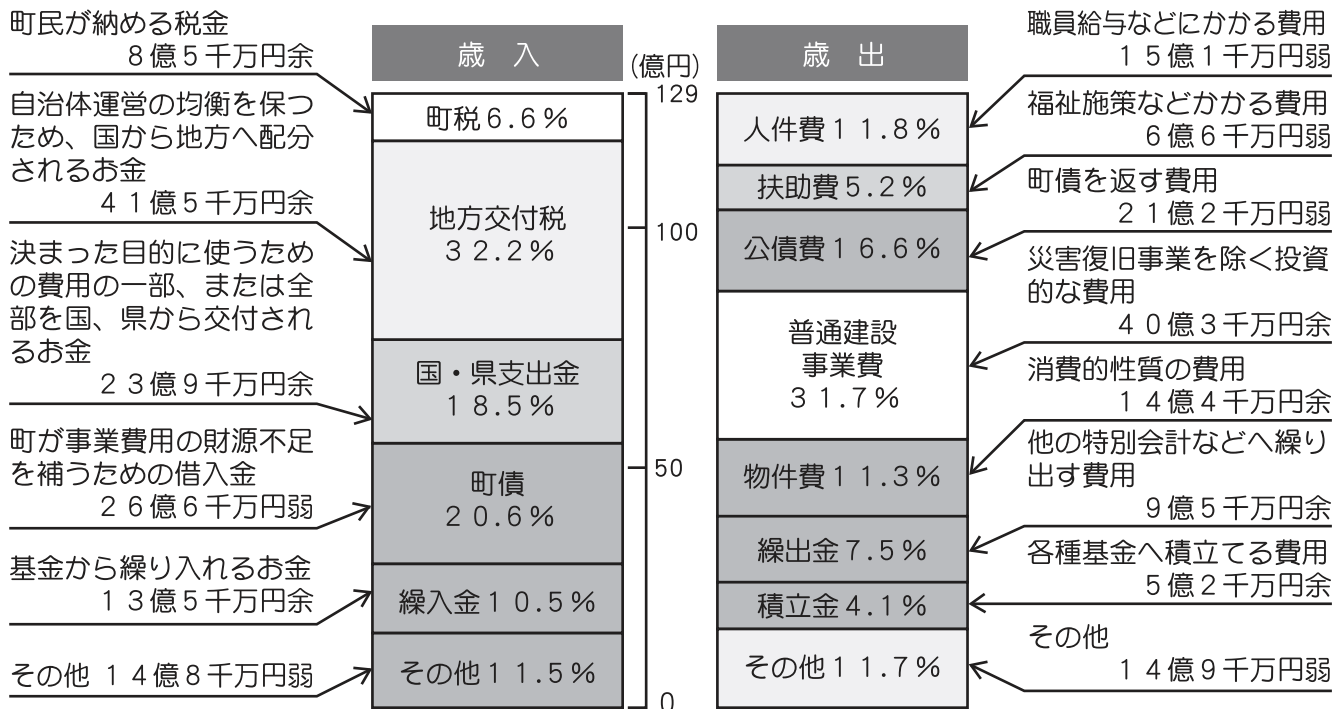


平成29年度一般会計決算

11.9%増 127億2千万円

庁舎、保育所移転などで 過去最大の決算額に

平成29年度一般会計決算の概要



●平成29年度一般会計決算の認定

○歳入決算額
対前年度比、12億3193万円、10・6%の増。

○歳出決算額
対前年度比、13億5687万円、11・9%の増。

合併以降で最大の平成28年度決算額を上回る額となった。

歳入から歳出を差し引いた形式収支は1億6327万円となり、この内翌年度に繰り越す事業の財源は5704万円。

また、実質収支額は1億622万円で、この額から基金への繰入額は6千万円とし、基金への繰入額を差し引いた純然たる翌年度への繰越額は4622万円となった。

内容的には、昨年引き続き、健全な財政運営が図られたものとなったが、将来への負担となる町債の借入れは、昨年度よりも減額となるも大きな額となり、今後もより一層、慎重な財政運営が求められる。

普通会計の平成29年度末の積立基金残高は52億1421万円、地方債残高は140億2214万円、この内、地方債残高は近年大型事業に取り組んできたことにより上昇傾向にあるが、健全化判断比率の状況は、実質公債比率が5・4%、将来負担比率も繰上償還によりマイナス10・9パーセントとなっている。

認定(全員)